

● Photo sketch ●



11/24 いつまでも健康で楽しく

市内の63クラブ、およそ4500人からなる土岐市老人クラブ連合会の運動会がセラトピア土岐で行われました。紅白に分かれたおよそ500人の参加者が、11種類の競技で熱戦を繰り広げました。土本会長が「これからの時代は健康寿命を延ばすことが大事。今日は体と頭を使って楽しい1日にしましょう」とあいさつした通り、選手の皆さんは、和気あいあいとした雰囲気ながらも、きびきびとした動きで汗を流しました。



11/29 いざ、という時のために

北消防署で開催された救命講習会に23人の方が参加し、消防署員とボランティア団体であるレスキューハート・土岐のメンバーから応急処置の重要性と心肺蘇生法を学びました。実技講習では、人形を使って通報から胸骨圧迫、AEDでの電気ショックなど一連の流れを繰り返し練習しました。参加者は「赤ちゃんに行う場合は？」「AEDのパッドが貼り付かない場合は？」など積極的に質問するなど、真剣に取り組んでいました。



12/4 見えないものを描く

土岐津町出身の日本画家、石原進さんの講演会が土岐津中学校で開かれました。石原さんは日本画と洋画の違いや、絵を描く際の技術的な注意点を説明したほか、「見えないものを描くのが美術。みんなの想像の中で自由に描いてください」と美術の楽しさ、奥深さを語りました。講演の後半では、金箔を使って絵を描く様子を披露しました。石原さんの技術を目の当たりにした生徒たちは、その絵の美しさに驚きの声を上げていました。



12/15 美濃焼伝統文化の技術に触れる

県重要無形文化財「志野」保持者の林正太郎さんによる講義が西陵中学校で行われ、ろくろを用いた大鉢の制作過程が披露されました。約35kgの粘土の塊が、みろくと鉢の形に変わっていく様子に生徒らは圧倒されました。また、生徒も林さんの手ほどきでろくろをひく体験をするなど、林さんの卓越した技術の一端に触れる機会となりました。実演後には、自身の経験を交えながら「人生は失敗の連続だが、あきらめず努力することが大事」と生徒らに語り掛けました。

12/2 泉西小 伝統の手作りミュージカル

泉西小学校で、6年生全員が参加して作り上げたミュージカル「森の歌」が上演され、美しい歌声と演技が披露されました。泉西小学校では、音楽教育の集大成として6年生が毎年ミュージカルに取り組んでおり、今回で32回目の上演になります。

児童らは今年9月から準備、練習に取り組み、大道具や小道具の制作、振り付けや照明操作まで全て児童が行い、手作りミュージカルを完成させました。フィナーレでは全員の名前と役割が紹介され、300人を越す会場からは割れんばかりの拍手が送られました。



「森の歌」

森に住む少年が、家畜を襲うオオカミ退治に出掛けた際、「オオカミだって生き物なんだ」という友達の意見を思い出し、殺さずに済む方法を考え実行する。

友達や動物との交流を通して、命や自然の大切さを伝えるストーリー。



一般の部〈敬称略〉

部門/賞名	文芸祭賞	市長賞	教育長賞
現代詩	松本喬夫 (下石町)	可児小松 (可児市)	田中和江 (飛騨市)
短歌	川上いさを (関市)	三戸素水 (東白川村)	澤田安子 (肥田町)
俳句	和田八恵 (瑞浪市)	市川岐美 (曾木町)	大脇悦子 (下石町)
川柳	成瀬雅子 (大垣市)	はぐれ雲 (東京都)	該当者なし
狂俳	多和田瑠璃 (各務原市)	小森石水 (山県市)	永縄一紅 (各務原市)

小中学生の部〈敬称略〉

部門/賞名	優秀賞		
現代詩	東萌凜 (泉西小5年)	伊藤梨華 (駄知中1年)	鈴木仁一郎 (駄知中1年)
短歌	林由加里 (西陵中2年)	大井颯汰朗 (駄知中2年)	齋藤拓磨 (泉西小5年)
俳句	菊川瑠舞 (西陵中1年)	伊佐次桃香 (泉小4年)	土屋真紘 (駄知中3年)

11/29 第14回土岐市文芸祭表彰式

第14回土岐市文芸祭表彰式が文化プラザで行われました。各部門に市内外から3,446点の応募があり、上位に入賞した18人が表彰を受けました。

小畑運営委員長は「作品は皆さんの知的産物です。想像と創造。頭の中で思いを巡らし、新しいものを創る。作品はいわば人格の表出であるといえます。これからも健筆を振るって、素晴らしい作品を生み出して下さい」とあいさつされました。

